

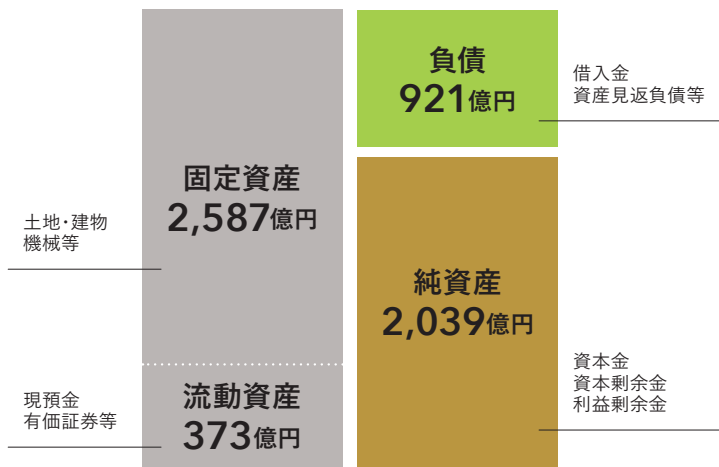
04 令和2事業年度決算概要

財務諸表

国立大学法人は、毎年度財務諸表を作成して、財務状況や運営状況を明らかにし、文部科学大臣に提出し承認を受けています。令和2年度における主な財務諸表の概要は以下のとおりです。

貸借対照表(B/S)

決算日(3月31日)における大学の資産等の保有状況



TOPICS

令和2年度は、病院における設備更新など工具器具備品の増加等により、資産が55億円増加しました。



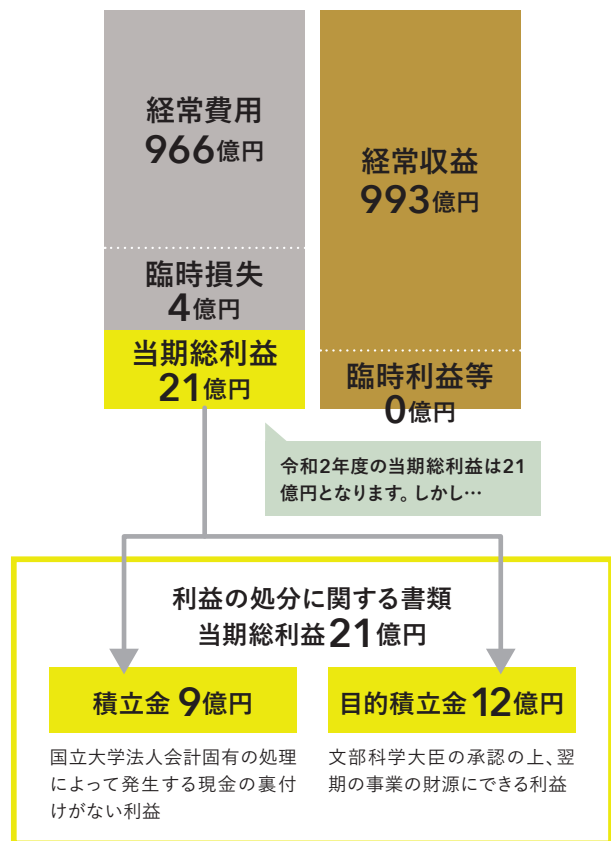
クラーク君

目的積立金は今後、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に使います。

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。※詳細はP53以降をご覧ください。

損益計算書(P/L)

一事業年度(4月1日から翌3月31日)における大学の運営状況



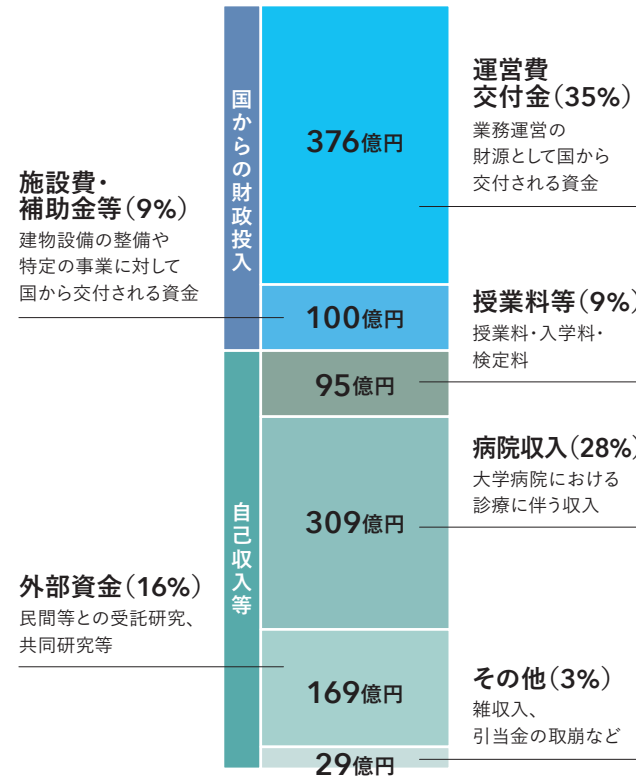
収入・支出決算の内訳

北大にいくらお金が入ってきて、それを何に使ったか、国と同様の基準で作成される決算報告書(現金主義)を元に表しています。国立大学法人特有の会計処理を行った結果である、損益計算書(発生主義)とは一致しません。

国からの財政投入と自己収入等、およそ半々で運営資金を賅っており、支出の約半分が人件費であることが特徴です。

収入の内訳

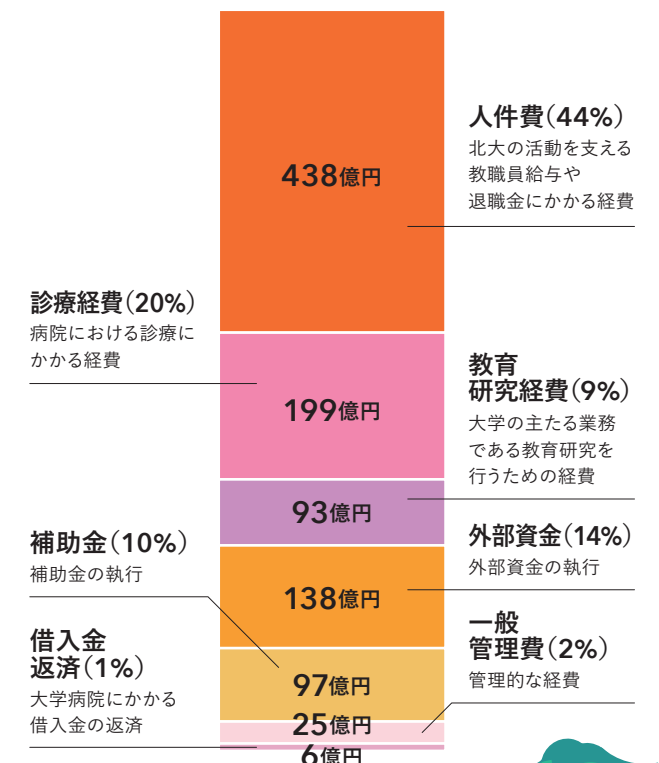
収入1,081億円



※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。※決算報告書の詳細は、P55をご覧ください。

支出の内訳

支出1,000億円



収入は国からの財政投入と自己収入が半々、支出は約半分を人件費が占めています。

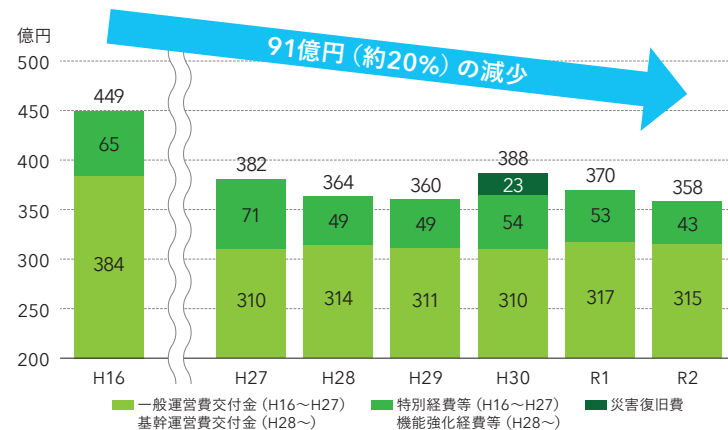


クラーク君

運営費交付金収入の推移

国から交付される運営費交付金は、法人化当初の平成16年度と比較すると91億円も削減されています。このため、経営の効率化を図り、外部資金等の自己収入の増収策を講じる必要があります。

※各年度に交付された金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の運営費交付金収入(P18・P55)や業務の進行度に応じ計上される損益計算書上の運営費交付金収益(P54)とは一致しません。※平成28年度から運営費交付金の各名称が変更されております。



外部資金収入の推移

国立大学の事業拡大のためには、民間等の資金を受け入れて研究等を行う外部資金の獲得が重要となります。北大においても、研究者が企業等にシーズの発表を行う説明会を開催するなど、外部資金の獲得拡大に取り組んでいます。

※各年度に受入した金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の外部資金収入(上記・P55)とは一致しません。

